

2020年8月-12月学習塾の業況調査結果について

公益社団法人全国学習塾協会は、2020年8月から12月までの学習塾の業況を把握するために調査を行いました。

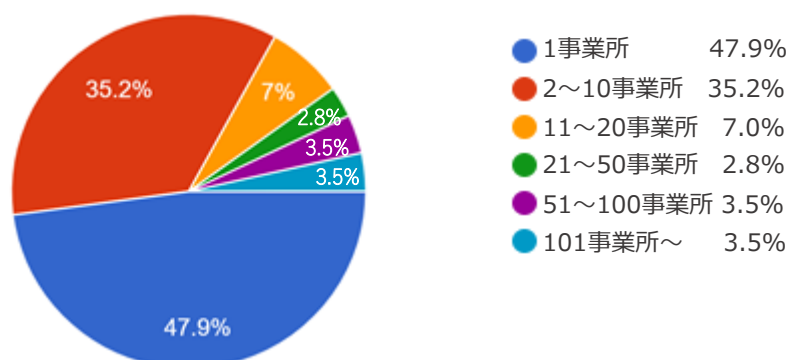
現在の学習塾の状況や今後の見通しを含め、新型コロナウイルス感染症の影響及びそれを乗り切るための学習塾の取り組みを公表いたします。

調査主体 公益社団法人全国学習塾協会
調査期間 2021年1月19日（火）～2021年1月29日（金）
調査対象 学習塾事業者
回答件数 142件

1. 回答のあった学習塾の本社所在地

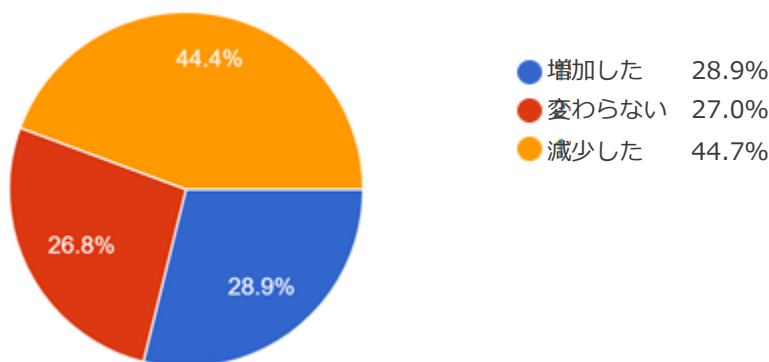
東京都	16件	北海道	5件	奈良県	3件	佐賀県	2件	鹿児島県	1件
三重県	11件	宮城県	5件	群馬県	2件	青森県	1件	沖縄県	1件
大阪府	11件	千葉県	5件	新潟県	2件	富山県	1件		
愛知県	10件	静岡県	5件	石川県	2件	福井県	1件		
埼玉県	9件	神奈川県	4件	長野県	2件	山梨県	1件		
広島県	8件	岡山県	4件	滋賀県	2件	島根県	1件		
福岡県	8件	熊本県	4件	茨城県	2件	山口県	1件		
兵庫県	6件	香川県	3件	愛媛県	2件	長崎県	1件		

2. 事業者の規模



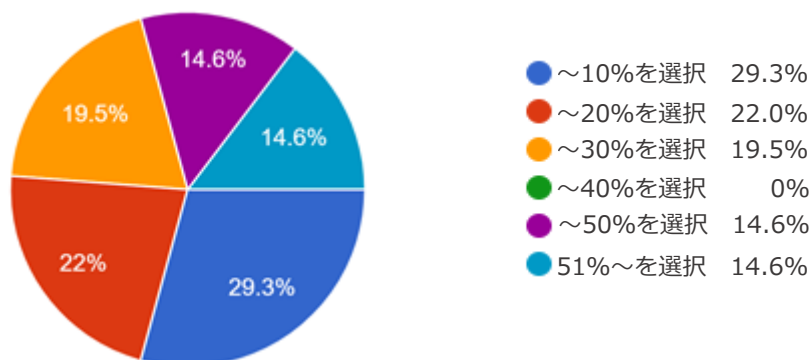
☑事業者の規模は、1事業所が47.9%、2～10事業所が35.2%と10事業所までの事業者が全体の約8割を占めた。

3. 前年同期間と比べた新規問い合わせ数



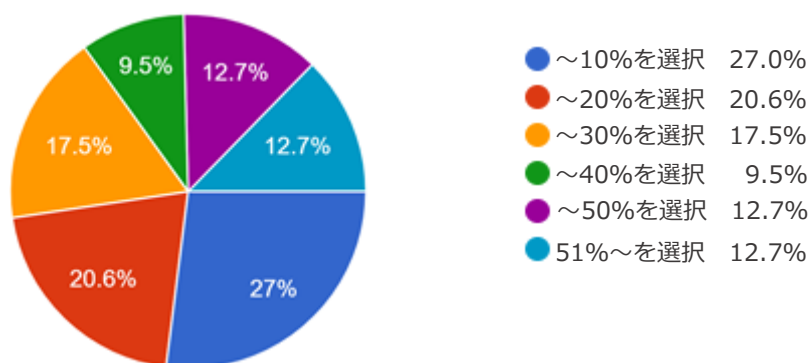
☑「減少した」と回答した学習塾が44.7%と約半数を占める一方で、「増加した」と回答した事業者は28.4%あり、一部の事業者では新規問い合わせ数の復調が見られた。

4. 「増加した」と回答した学習塾の新規問い合わせ増加割合



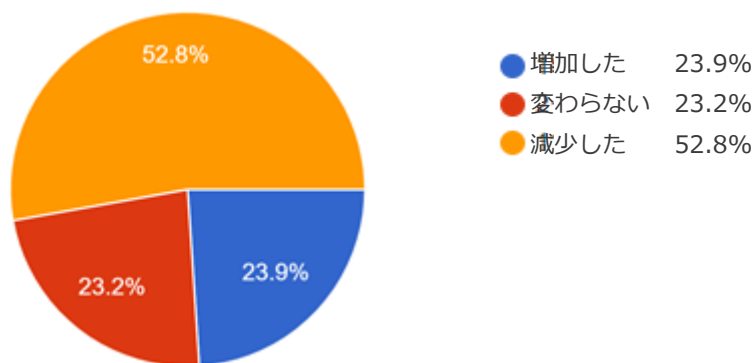
☑新規問い合わせが「増加した」と回答した学習塾におけるその割合は、0～20%で全体の約半数を占める一方で、新規問い合わせが「増加した」学習塾の約3割が41%以上増加したと回答した。

5. 「減少した」と回答した学習塾の新規問い合わせ減少割合



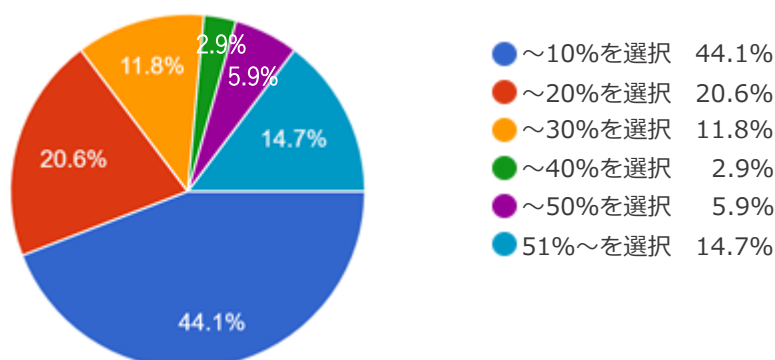
☑新規問い合わせが「減少した」と回答した学習塾におけるその割合は、0～30%で全体の約6割を占める一方で、新規問い合わせが「減少した」学習塾の中で、12.7%が51%以上減少したと回答した。

6. 1教室あたりの現在の在籍生徒数について（昨年比）



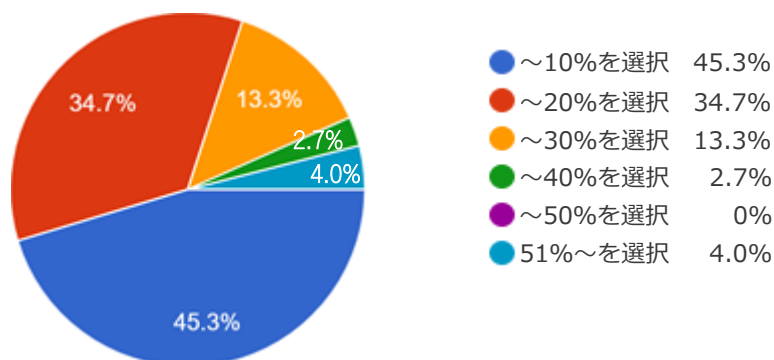
☑ 新規問い合わせ数の減少が影響し、1教室あたりの在籍生徒数については、52.8%の学習塾が「減少した」と回答した。

7. 「増加した」と回答した学習塾の在籍生徒数の増加割合



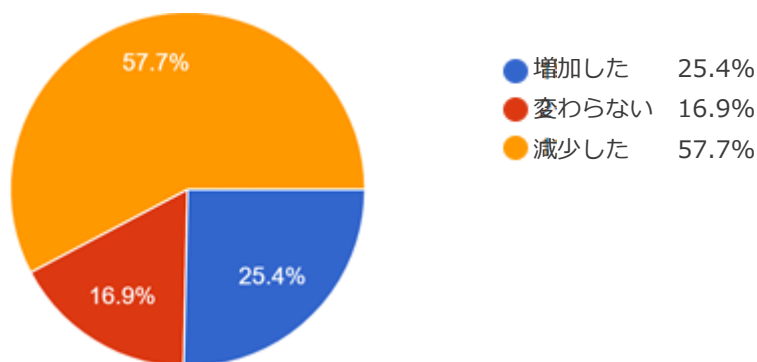
☑ 在籍生徒数が「増加した」と回答した学習塾におけるその割合は、0～20%で全体の約6割を占める一方で、新規問い合わせが「増加した」学習塾の中で14.7%が51%以上増加したと回答した。

8. 「減少した」と回答した学習塾の在籍生徒数の減少割合



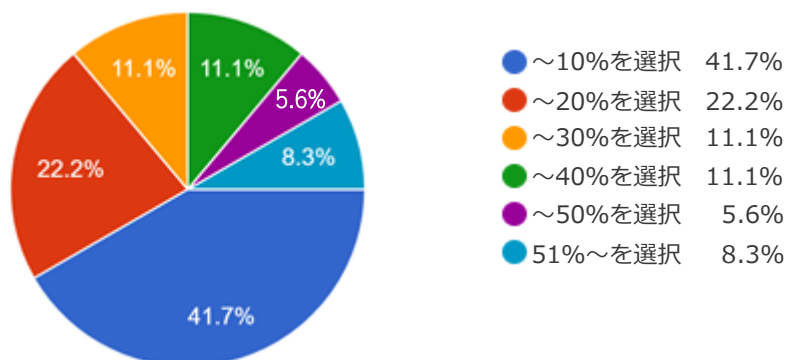
☑ 在籍生徒数が「減少した」と回答した学習塾におけるその割合は、0～30%で全体の約9割超を占める一方で、新規問い合わせが「減少した」学習塾の中で、4.0%が51%以上減少したと回答した。

9. 前年同期間と比べた売上について（8月～12月）



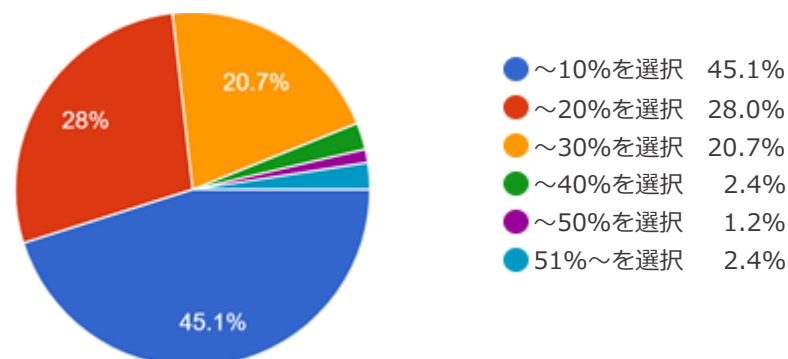
☑売上が「減少した」と回答した学習塾は全体の57.7%となった。これは新規問い合わせ数の減少に起因して、在籍生徒数が減少した結果といえる。

10. 「増加した」と回答した学習塾の売上の増加割合



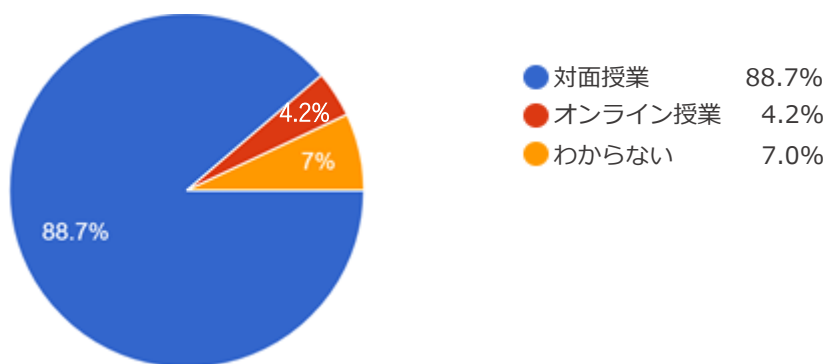
☑売上が「増加した」と回答した学習塾におけるその割合は、0～20%で全体の約6割超を占める一方で、売上が「増加した」学習塾の中で8.3%が51%以上増加したと回答した。

11. 「減少した」と回答した学習塾の売上の減少割合



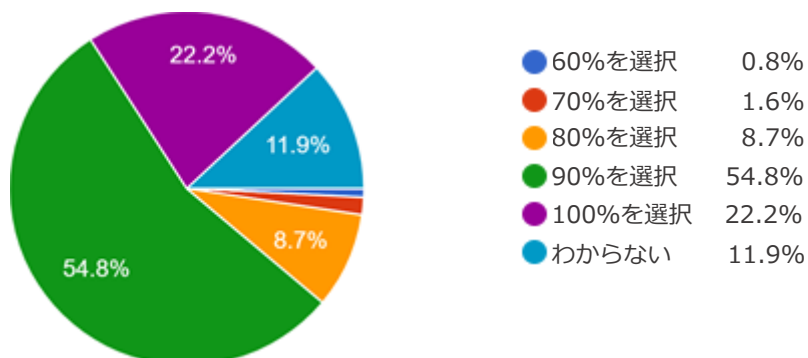
☑売上が「減少した」と回答した学習塾におけるその割合は、0～30%で全体の9割超を占めた。

12. 対面授業とオンライン授業に関する保護者の希望



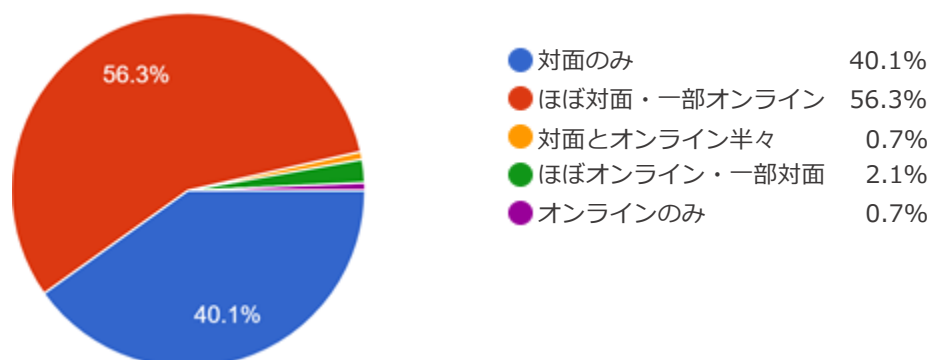
☑約9割の学習塾が、保護者は対面授業を希望していると回答した。現時点では保護者のオンライン授業に対するニーズは少ないという認識の学習塾が多いが、今後は長期化する新型コロナの影響に加え、オンライン授業の効果測定及び品質改良により、ニーズは増加していく可能性が高い。

13. 対面授業を希望する保護者の割合



☑対面授業を希望する保護者の割合は、90%と回答した学習塾が最も多く、次いで100%という回答から、対面授業のニーズが根強い。

14. 現在の指導形態について



☑現在の指導形態は、「対面のみ」と回答した学習塾が4割、「ほぼ対面・一部オンライン」が約5割超と、保護者のニーズの下、ほとんどの学習塾では対面授業を主な指導形態としている。

15. 冬期講習で工夫したことや春期講習に向けたアイデア等

- ・オンラインでの新指導コースまた自習室を開講
- ・オンラインでの家庭学習管理
- ・オンライン授業と対面の併用形式にしました。
- ・欠席者へのフォローでオンライン指導を活用した。
- ・オンライン指導に特化したシステムの開発
- ・学校の冬休み短縮の影響で講習期間が縮小されたため、土日の補習日を増やした。
- ・冬期講習の期間を拡大した
- ・午前・午後・夜の3部制で総入れ替え、間に1.5時間ほどの換気と消毒
- ・講座回数を減らして教室への参集回数を減らし、講座費用を減額した。
- ・例年行っている宿泊型の勉強合宿ではなく、通学型の集中教科特訓を実施
- ・SNSを利用した広告宣伝活動
- ・内部生向けの宣伝を充実させ口コミを増加させた
- ・全教室にプラズマクラスター加湿空気清浄機を導入し、消毒・検温を徹底。

☑冬期講習で工夫したことや春期講習に向けたアイデア等については、多岐に渡る「オンラインの活用」という回答が多く見られた。

16. オンライン授業を実施または検討するにあたっての課題

- ・各家庭におけるネット環境、端末準備に差がある
- ・教室で利用する端末、カメラ、音響設備などの導入準備
- ・導入費用に数百万円のコストがかかった
- ・生徒のモチベーションをどのようにして上げるか
- ・指導成果（成績向上）
- ・対面授業とオンライン授業の時間帯の設定について
- ・各講師のオンライン指導への習熟度
- ・講師側の教材手配
- ・講師側の熱量が伝わりにくい、生徒側の意図を把握しにくい
- ・授業形式。1対複数の異学年異科目個別指導形式をどう実現させられるか。
- ・保護者の満足度の向上
- ・公衆送信権などの著作権問題

☑オンライン授業を実施または検討するにあたっての課題は、「各家庭のネット環境・端末準備」、「導入コスト」といった回答が多かった。その他、「オンライン授業での成果・満足度」といった回答も多かった。

17. 今後の見通しについて

- ・新規生徒の募集が乏しい
- ・新年度の在籍生徒数に不安を感じる
- ・対面授業をいつまで続けられるか不安を感じる
- ・在籍生の受け入れをどの範囲(教室定員)まで行うか判断に迷う
- ・市場の動き（選塾のタイミング）がどこまで遅くなるか不安を感じる
- ・学校での授業進度のばらつきによって対応に困る
- ・チラシ（紙媒体）の効果が極端に少なくなっているため、募集方法を模索している
- ・緊急事態宣言再発令の影響により新規体験生のキャンセルまたは開始時期に遅れが生じている
- ・新年度どのように生徒数が推移するのか、これまでとは違った推移になるのではと不安を感じる
- ・問い合わせは増えたが面談または入塾に至らず、在籍生徒数が増えない
- ・生徒によっては通塾意欲の減衰が見られる
- ・非常勤講師不足の懸念がある
- ・保護者の収入状況の悪化が顧客単価の減少を招いている
- ・売上が減少した中で、社員に対する待遇を変えずに回復するまで耐えるのも限界があると感じる
- ・今年度前半の売り上げ減の埋め合わせがほぼ不可能であり、売り上げ、利益ともに昨年度比を下回る
- ・正社員・非正規社員（大学生アルバイトなど）の給与調整や人員整理による経費節減に取り組まざるを得ない状況
- ・内部生の新年度に向けた継続に不安を感じる

☒ 今後の見通しは、「新年度の在籍生徒数の減少」、「売上の減少」といった回答が最も多かった。国に対しては、補助金の拡充や教育バウチャーの支給を望むといった回答があった。

全国学習塾協会について

当協会は、民間教育を担う団体・個人に関する支援及び能力開発、調査研究、地域社会に対する貢献等を行うことによって、児童及び青少年等の学力養成の推進に寄与し、より良い社会の形成を推進することを目的として1988年に設立された業界唯一の公益法人です。

「学習塾事業者における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」はこちらから

<https://www.jja.or.jp/safety/>

【お問い合わせ先】

公益社団法人全国学習塾協会

〒170-0005東京都豊島区南大塚3-39-2

TEL 03-6915-2293 MAIL info@jja.or.jp

ホームページ <https://www.jja.or.jp>